

楽しさ見える作品に魅了

▶書道・花・盆栽等



文化祭(作品展示会)

10月15日～17日 開催される



▲電車・動物等の模型



◀たばこケース・切手等



▶手芸・手作り品等

東部ひろばから

10月16日(土)を中心に昨年と同様に3日間、住民の文化活動の活性化を図るため、恒例の「文化祭」が開催されました。

●子どもの参加増が課題

新しい試みとして子どもの参加増を図るため、小学生を対象に「私のゆめ」を募集し、12名の提出がありました。ま

内容は、感染症状況を考え、祭りとのセットでなく「作品展示会」のみの催しとなりました。結果は、昨年を上回る書道グループや個人コレクション等の出品があり、出品者数129名で来館者数が200名を超える、従来と同様な賑わいのある事業となりました。

「秋の寄せ植え」講座



赤羽宣子さん(桜町)を講師に「秋の寄せ植え」講座が10月13日(水)に12名の参加をいただき開催されました。

参加した小原美苗さん(東町2)は「講師の指導が良く、出来栄えに大変満足しました。」と話していました。

ベネチアンガラス講習会



太田敏子先生を講師に「ベネチアンガラス」講習会が9月22日(水)に11名の参加をいただき開催されました。

参加した三枝成葉さん(公民館)は「周りの参加者が、黙々と真剣に作っている姿に驚きました。」と話していました。

「ひろば講座」作品文化祭出展で好評

た、偶然にも小学6年生の選挙ポスター掲示依頼があり会場に展示し、このことを小学生にチラシを作成し周知も図りました。しかし、昨年の来館者率9%に対し、今年は13%と増えたものの、予想した来館者数には届きませんでした。

一方、デザイナーサービスの利用者・職員からの手作り品も出され多くの感心と感動が寄せられました。参加・運営した新村町会長(東町2)は、「習字や模型の造作、花や盆栽等の展示に感心しました。」と話していました。

東部複合施設避難訓練



10月29日(金)に火災を想定した訓練を行いました。

清水小学校開校70周年記念式典



10月30日(土)に清水小学校にて開催されました。

確実にたんたん事業展開

あふれる笑顔満載

防災緑地清掃



刈った草を運ぶ子どもたち

10月24日(日)に30名を超える方の参加をいただき、防災緑地の清掃を行いました。三代澤連合町会長(清水中)は「皆様のご協力ですべて綺麗になりました。これを機に緑地のことを知っていただければ。」と話していました。

ウォークとカレー



調理をするカレーの会の皆さん

松本城周辺を探索するウォーク講座が、10月26日(火)に28名の参加をいただき開催されました。参加した矢口洋子さん(葭町)は「楽しくウォークでき、そのあとのカレーも格別においしかったです。」と話していました。

魚の煮付け講座



サバを捌く講師の小林崇泰さん

メイン料理の定番魚の煮付けを学ぶ講座が、10月27日(水)に12名の参加をいただき開催されました。参加した大島房代さん(桜町)は「短時間ですごく味が染み込んでびっくりしました。さすがプロの味でした。」と話していました。

代表者(13団体)が一同に集う

「代表者会議」で活性化を図る

平成30年4月に発足された「代表者会議」。目的の一つは、組織間の情報交換により活性化と相乗効果を上げること。二つ目は、全体行事・講座を組織的な企画・運営により参加者増を目指すこと。三つ目は、地区活動の課題と対策等の意見集約を図ることです。

構成は、町会連合会代表と防災部等各専

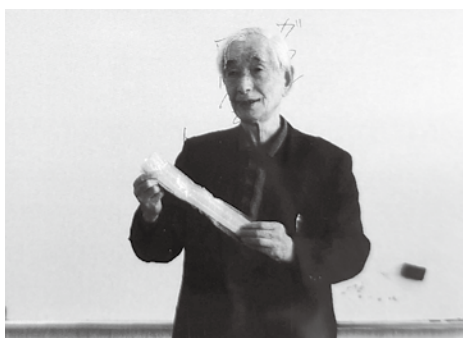
門団体代表者又は準ずる者で組織しています。その役割は、各団体の活動報告・協力要請に基づき協力体制をとること。

全体行事・講座の企画・運営案を町会長等に答申すること。そして、地区活動の課題と対策の提言を図ることの三点です。

令和3年度は、13名で組織し年6回の開催により審議・交流を図っています。また、公民館の運営委員会と文化委員会も兼務しており、名実ともに町会長会に次ぐトップ会議としての役割を担っています。

紙漉川を歌に残す

我がまち自慢
東町3丁目町会
今井 常雄さん



講演をする今井さん(2015.9.26)

から南に流れる川で、延宝年間(水野氏治世)岡宮神社付

この度、東町3丁目にお住まいの今井常雄さん(89歳)が「紙漉川(かみすきがわ)の歌」を作詩し、安曇野市在住の腰原稔さんに曲をつけていただいた「紙漉川演歌」が作られました。

近に紙漉屋が置かれ、その後の東信製紙(現在は王子製紙と合併)へと至る水の町松本を忍ばせる川です。

●歌を作ったきっかけは
世の中がコロナコロナで時間があったので、図書館で郷土史を読んでいたら「紙漉川」の記述を見つけ、いろいろと調べてみました。今はちょっと寂しい流れになっている川だけど、地域の皆さんに知ってもらおうと思い、歌に残そうと考えました。皆さんにご協力いただき素敵な歌ができました。

●紙漉川とは

今は横田溝渠として東部地区を北

今井さんを語るとすれば何冊もの本になります。今回は紙漉川のことですが、他にも活動は盛り沢山あります。その一端を紹介すると、町

会長を6年、その後後に町会誌「東町3丁目」(歴史と住民の生活等を写真や絵図で描写)を刊行、「かわら版」(季節や行事等の話題)も毎月発行等々。

日頃から地域の歴史を研究し後世に繋ぐ取組を地道に継続されています。

